

1. 予算編成の考え方

- 国の経済対策と連動し、障がい福祉や介護分野の人材確保・職場環境の改善に対する支援、大規模災害発生時における避難所環境改善、サケふ化場施設等を有効活用した新たな取組に対する支援など、喫緊の課題に対応するための経費を計上
 - 県民の命と健康を守るため、物価高の影響を受ける県立病院の経営安定化に向けた支援に要する経費を計上
 - 県税等の歳入の最終見込み、所要額を踏まえた退職手当、高病原性鳥インフルエンザ対策などの緊要な課題に対応する経費を含めた歳出額の整理
 - 財政健全化を着実に推進するための県債管理基金への積立て、財政調整基金の法定積立に要する経費を計上 等
- 〔計上事業〕 別紙のとおり

2. 予算の規模等

- (1) 今回補正額：64億円〔通常分：89億円、コロナ・物価高騰分：▲12億円、震災分：▲13億円〕
〔うち、経済対策分：第11号補正後 353億円 + 今回補正予算 80億円 = 計 433億円〕
- (2) コロナ・物価高騰分：第11号補正後 558億円 + 今回補正予算 ▲12億円 = 計 547億円

〔一般会計〕 (単位：百万円)

区 分		予算額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	その他	一 般
令和6年度	現 計 予 算 額	789,947	116,181	59,384	140,863	473,519
	補 正 予 算 額	6,434	▲ 5,997	▲ 7,531	▲ 10,802	30,764
	補正後現計予算額(A)	796,381	110,184	51,853	130,062	504,282
令和5年度2月現計予算額(B)		809,513	126,508	49,662	141,227	492,116
比 較	増減額(A)－(B)	▲ 13,133				
	増減率(%)	▲ 1.6				

令和6年度 一般会計第12号補正予算案（2月定例会提案分）における主な事業

〔新〕は新規事業

1. 原油価格・物価高騰対策〔補正予算額：3,912百万円〕

〔新〕1 障がい福祉人材確保・職場環境改善等事業費 531百万円〔保健福祉部〕

事業者に対し、福祉職員等の賃金引上げ等に要する経費を補助(1人54,000円相当)

〔新〕2 介護人材確保・職場環境改善等事業費 972百万円〔保健福祉部〕

事業者に対し、介護職員等の賃金引上げ等に要する経費を補助(1人54,000円相当)

〔新〕3 県立病院等事業会計負担金 1,061百万円〔保健福祉部〕

物価高騰に伴うかかり増し経費を負担

〔新〕4 指定管理施設光熱費高騰分 161百万円〔関係部局〕

指定管理施設の光熱費高騰分に伴うかかり増し経費

2. 新型コロナウイルス感染症対応〔補正予算額：▲5,097百万円〕

1 新型コロナウイルス感染症対策資金貸付金 ▲1,295百万円【補正後現計29,273百万円】〔商工労働観光部〕

2 新型コロナウイルス感染症対応資金貸付金 ▲3,676百万円【補正後現計14,751百万円】〔商工労働観光部〕

3.通常分〔補正予算額：8,922百万円〕

[新]1 地域防災緊急整備事業費 53百万円〔復興防災部〕

激甚化・頻発化する豪雨災害や大規模災害発生時における避難所環境の改善等を図るため、資機材(テント、ドローン等)を整備

2 家畜伝染病予防費 3,010百万円【補正後現計5,622百万円】〔農林水産部〕

県内における「高病原性鳥インフルエンザ」の発生状況を踏まえた新たな事案が発生した際の防疫措置等に要する経費

[新]3 さけ定置合理化等実証事業費補助 350百万円〔農林水産部〕

漁業協同組合に対し、サケふ化場施設等を有効活用したサーモン養殖用種苗の生産などを実証するために要する経費を補助

[新]4 公立学校情報機器整備基金積立金 290百万円〔教育委員会〕

公立小中学校等における児童生徒用の1人1台端末等の計画的な更新に向けた基金の積み立て

(財政健全化の着実な推進：13,934百万円)

[新]1 財政調整基金積立金 9,761百万円〔総務部〕

令和5年度決算剰余金の1/2の法定積み立て

[新]2 県債管理基金積立金 4,173百万円〔総務部〕

普通交付税の追加交付分「臨時財政対策債償還基金費」等の積み立て

4.震災分〔補正予算額：▲1,267百万円〕

1 中小企業東日本大震災復興資金貸付金 ▲508百万円【補正後現計21,426百万円】〔商工労働観光部〕

2 中小企業等復旧・復興支援事業費 ▲164百万円【補正後現計8百万円】〔商工労働観光部〕